

★夜間学校★ ☆釜ヶ崎☆ ★45周年★

8/20 今晩は時よこ「喜望の夜」(第13回)

テーマ「なんでも話そう」

身近な話題や問題を持ち寄り

■ 先週の夜間学校は、才10回釜ヶ崎

夏祭りには合流ということでも休まりました。夏祭りでは、夜間学校の常連さんもそれぞれで活躍していたようです。

■ 今回の夏祭りは、昭和36年の才一、次暴動から20年が経ったということ、暴動関係の新聞と写真展示、それに反校・反原発の写真パネル展が三角公園をかざり、入目を引きつけていました。熱心に20年前の新聞記事を読む労働者

(仮称)釜ヶ崎夜間学校とは…

我々が釜ヶ崎で、あるいは日雇労働者として生活していく中で、誰でもがいつかは必ずぶつかるといえる問題であると同時に皆の問題でもある仕事や病気の問題等を皆の力で解決していく

の姿が印象的でした。

■ 12日は前夜祭。才一次暴動当時のニュース映画(劇場用でたったの4分でしたが)と「アルジェの陣い」が上映されました。これは洋画で長時間ということもあって観客の数も少なくなりましたが、内容的にはすばらしいもので、芸術性さえ感じさせる映画でした。

■ 夏祭りの催し物の中では、13日の

為に、先生と生徒の関係でなく、皆が生徒で先生でもあると言う対等な関係の中で、互いの知識と経験を通して学び考える合う自由な場です。

是非多くの仲間が参加して下さい。又、運営にも積極的に参加して下さい。

沖縄の仲間達の歌とおどり、14日のと自慢大会、そして15日の実行委員会メンバーが演じた暴力飯場をテーマにした寸劇が人気を集めていました。

■ 10面を向えた釜ヶ崎夏祭りも、労働者の向にすっかり定着し、全体的にみれば去年なみの人出でしたが、盆踊りの輪に入る労働者が若干少なかったように思います。

■ さて夏祭りも終り、盆休みも明けると、ふとここの具合もさみしくなり、さあ仕事に行こうと思っても、相変わらず仕事は少ない。しんどい限りです。

■ 今夜の夜間学校では、夏祭りのスライドを見た後、最近の身近な話題を持ち寄って、いろいろなことを自由に気軽に話し合いたいと思います。また、来月に話し合うテーマも皆で決めていこうと思います。是非多くの仲間が参加して下さい。

来週の予定

8月27日(木) 釜ヶ崎の歴史

(仮称) 釜ヶ崎 夜間学校 ニュース 第44回報告テーマ「人夫出しと在日朝鮮人問題」

親方もわれわれも

構造の中に入れられている

今回は、ビデオを見ながら、在日韓国人・朝鮮人の問題について話し合いました。

日本には、66万人の在日韓国人・朝鮮人がおり、種々の差別の中の生活をしいられています。

「われわれは、仕事に行けば、朝鮮人と出会う。時々、朝鮮人は自分の国へ帰れよという言葉や聞くが、朝鮮人が、強制連行されてきた歴史を考えるとそんなことは言えなれと思う。」

「なぜ、日本政府は、朝鮮人を帰化させないのか。」

「帰化する、しないの問題ではない。帰化日本人として差別はつきまとうということがある。」

「朝鮮人自身が、過去の歴史から、帰化も一考では望んでいない。屈辱である。日本の中で朝鮮人として生きていく。」

「きたい」と思っている人が多い。」

「歴史的な流れを感じる。」

「なぜ、朝鮮の人を差別するような意識が生じてきたのか。」

「古代は、朝鮮は先進国であり、当時日本は技術者を必要としていたから朝鮮人は優遇されていた。明治維新の頃、征韓論などが出てきて、朝鮮人をくさいものにし始めた。」

「くさいものにされているのは、われわれである。」

「団交の時、日あそこの親父は朝鮮やから……と云うことがあるが、このように、頭から相手をバカにするのは、それこそ話にならぬ。対等の関係で話しをすることが必要だ。」

「時代が変われば、日本は被害者になる。」

「いつの時代でも、親父よりも金もうかす。」

「親父がピンハネしているというよりも、親父もわれわれも構造の中に入れられている。」

「日本人の親父は、もっとあくどい。」

「朝鮮人の職業選択にゆがみがあり、地位が安定するならば、われわれのデズラもあがりやすくなるのではないかと。」

「みんながつくるみんなの広場」

「(仮称)釜ヶ崎夜間学校」

運営委員会準備会

萩の茶屋2の8の18 喜望の家内

電話(06)64713946

(毎週木曜日夜7時~10時の向に)

